

嘉義阿里山と阿里山林業鐵路

テーマ：歴史



阿里山国家森林遊楽区は、標高約2,200mに広がる高山森林リゾート。台湾ヒノキの巨木群や遊歩道が整備され、冷涼な気候と澄んだ空気の中で格別の森林散策を楽しめる。

木材輸送を目的として日本統治時代に建設された阿里山林業鐵路（旧・阿里山鐵路）は、平地から高山、亜熱帯から冷温帯へと移ろう植物層の変化を車窓から観賞できる。

途中の奮起湖駅では、ノスタルジックな老街散策や名物駅弁も旅情を添える。

阿里山林業鐵路支線となる祝山線で朝の展望地へ向かえば、台湾最高峰の玉山方面から昇るご来光を望むことができ、鉄道と高山景観が一体となった極上の風景を堪能できる。

企画視点

主要都市からのアクセス 主要都市：嘉義

嘉義中心部から、車で片道およそ2時間30分

又は嘉義駅から阿里山林業鐵路で片道およそ3時間

周辺の地図 <https://maps.app.goo.gl/jYgLJuEnPnHnZk6p7>

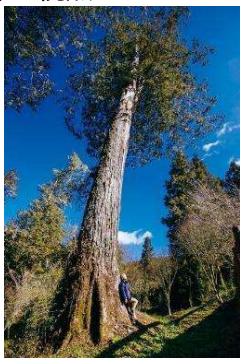
旅行会社の企画視点



お勧めの見どころ：阿里山ホテル周辺の森林区散策、原住民文化、阿里山から望む、台湾最高峰玉山（標高3952メートル）の御来光、嘉義から高山へ向かう阿里山観光の目玉は阿里山林業鐵路だが、座席数が限られており確保が難しい場合が多い。

そのため団体ツアーではバス利用を基本に、森林散策やご来光観賞を組み合わせた高山リゾート体験型コースとして企画するのが現実的。

地域資源の視点



街道・絶景：見たまが美しい

イベント・地域色豊かな食文化：阿里山茶（高山茶）、阿里山紅茶（高山紅茶）、阿里山珈琲

毎年1月1日阿里山日出印象音楽会

毎年10月阿里山神木ウエディング

阿里山は高山森林と台湾ヒノキの巨木群、そして日本時代に建設された阿里山林業鐵路が一体となった山岳観光資源。森林生態系と林業の歴史、原住民文化、高山茶などの地域産業が融合し、台湾を代表する自然・文化複合型の地域資源となっている。

関連情報リンク先

台湾観光庁阿里山国家風景区管理处[阿里山国家風景区](#)

問い合わせ先／画像提供：台湾観光庁